

地方創生関係交付金 事業シート

第2回八戸市総合計画等推進市民委員会

令和4年6月3日

八戸市

事業シート目次

No. 1	八戸都市圏の食ブランドを活かした広域連携による稼ぐ力強化事業（推進）	…… P 3
No. 2	八戸スポーツビジネス創生事業（推進）	…………… P 6
No. 3	八戸産ぶどうを活用したワイン産業の創出による地域経済活性化事業（推進）	… P 9
No. 4	はちのへ空き家再生事業（推進）	…………… P 12
No. 5	はちのハマチナカ活性化プロジェクト（推進）	…………… P 15
No. 6	八戸 A I データワーク推進事業（推進）	…………… P 19
No. 7	蕪島エントランス整備事業（拠点）	…………… P 21
No. 8	多賀多目的運動場スタジアム照明整備事業（拠点）	…………… P 23
No. 9	市営魚菜小売市場を核とした官民連携による個性あふれる商店街の形成と水産業の振興（拠点）	… P 25

事業シートの見方

No.○ □□□□□事業（推進・拠点）

※事業名と地方創生推進交付金（推進）または、地方創生拠点整備交付金（拠点）のどちらを活用したか記載しています。

1. 事業概要

担当部署：△△△△課

目 的	※本事業の目的を記載しております。
事業期間	平成○○年度～令和○年度（○年間）
令和3年度実績額	総事業費：○○○○千円（うち国費：○○○○千円） ※千円以下は切り捨て
交付金事業の取組及び実績	<p>【過去の取組み】</p> <p>※別紙参考資料●参照</p> <p>【令和3年度の取組】</p> <p>※本事業に関する取組及び実績を記載しております。</p> <p>※千円以下は四捨五入</p>
K P I	※別紙参考資料●参照
担当部署評価	<p>※担当部署において、凡例を基に4段階の評価をしております。</p> <p><input type="checkbox"/>①地方創生に非常に効果的であった <input type="checkbox"/>②地方創生に相当程度効果があった</p> <p><input type="checkbox"/>③地方創生に効果があった <input type="checkbox"/>④地方創生に対して効果がなかった</p> <p><input type="checkbox"/>⑤効果の有無はまだわからない</p>
担当部署評価理由	※上記の評価をした理由を記載しております。

2. 委員による評価

本事業の実施による、地方創生への効果について御判断していただきます。

- ① 地方創生に非常に効果的であった
- ② 地方創生に相当程度効果があった
- ③ 地方創生に効果があった
- ④ 地方創生に対して効果がなかった
- ⑤ 効果の有無はまだわからない

委員×モ欄

〈評価の凡例：選択肢〉

①	地方創生に非常に効果的であった	例：全ての KPI が目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②	地方創生に相当程度効果があった	例：一部の KPI が目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③	地方創生に効果があった	例：KPI 達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④	地方創生に対して効果がなかった	例：KPI の実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合
⑤	効果の有無はまだわからない	例：施設を整備中など、KPI の実績が出ていない場合

No.1 八戸都市圏の食ブランドを活かした広域連携による稼ぐ力強化事業（推進）

担当部署：広報統計課、観光課、
商工課

1. 事業概要

目的	関係人口を増やし、関係性を深化させることによって、確度の高い顧客を確保するとともに、若年層、働く世代の当圏域への移住・定住、食ブランドの販路拡大による地域活性化とそれらの相乗効果による八戸都市圏の「稼ぐ力」の強化を図ることを目的とする。
事業期間	平成 29 年度～令和 3 年度（5 年間） ※横展開タイプ ※REGAIN GROUP(株)より、企業版ふるさと納税を活用した 200 万円の寄附金を受納した (H31/1/31)ことで、事業期間を 2 年間延長するインセンティブを受けた。
令和 3 年度実績額	総事業費：45,712 千円（うち国費：22,856 千円）
交付金事業の取組及び実績	<p>【過去の取組】 別紙参考資料 2 1 ページ参照</p> <p>【令和 3 年度の取組】</p> <p>①八戸都市圏スクラム 8 ファンクラブ形成・PR 事業【広報統計課】 概要：八戸都市圏交流プラザ「8base」を核として、八戸圏域の魅力的な食や特産品、観光等の幅広い情報を発信・提供することにより、八戸都市圏に興味・関心を持って応援するファンを増やし、更なる地域活性化につなげる。 実績：LINE によるイベント PR 記事の配信や、スクラム 8LINE アカウント PR 用のチラシ・ポストカード等の制作を実施 事業費：181 千円</p> <p>②八戸都市圏交流プラザ事業【観光課】 概要：令和 2 年オープンした八戸都市圏交流プラザ「8base」を活用し、地域産品の販路拡大、関係人口拡大、移住・UIJ ターン促進を推進することで地域活性化につなげるための各種事業（交流事業業務委託、ブランディング推進業務委託、8base パンフレット作成業務委託、ウェブサイト保守管理等）を実施する。 実績：八戸圏域のファンづくりを目的とした交流会を 4 回開催（新型コロナウイルス感染症拡大を受け、13 回中、9 回を中止とした。） 令和 4～6 年度において実践すべき取組事項や方向性を定めたブランディング計画を策定 8 base の PR 用パンフレット（日本語版・英語版）を作成、配付 8 base の英語版ウェブサイトを作成 8 base ウェブサイトの管理運営（令和 3 年度 PV 数：122,966PV） 首都圏の各種メディアにて紹介（テレビ番組 4 件、雑誌 2 件、WEB 2 件 等） 事業費：31,814 千円</p> <p>③海外販路拡大事業【商工課】 概要：ASEAN 諸国（主にベトナム、シンガポール）及び米国等へ販路拡大を目指す企業を支援し、圏域の地場産品の更なる販売促進及び認知度向上を図るため、国内外バイヤーとの商談会、現地での営業活動、プロモーション活動等を実施する。 実績：ASEAN 向け通年マッチング支援事業 オンライン講座開催 10 社参加</p>

	<p>オンライン商談会 1 回開催 商談先 4 社(国内) 商談 14 件(うち成立 2 件) 営業代行 営業先 5 社・延べ 57 商品 成立 1 件継続商談希望延べ 19 商品 北米向け食品輸出拡大支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加メーカーとのオンライン戦略ミーティング 9 社× 3 回実施 ・雑誌 origami 掲載、SNS 等による情報発信 (R3 年 9 月、11 月掲載) ・既存販売先への販売アドバイス等 (R3 年 10 月～11 月) ・現地レストランでのプロモーション <p>事業費 : 6,933 千円</p> <p>④八戸圏域版 DMO「VISIT はちのへ」連携事業【観光課】 概要 : 八戸圏域版 DMO 組織である「(一財) VISIT はちのへ」が実施する各種事業 (八戸圏域商流づくり事業、インバウンド受入体制強化事業、DMO 経営戦略マ ーケティング推進事業) を支援する。 実績 : SNS を活用した地場産品に関する情報発信を実施 多言語版ウェブサイト (英語・繁体字) の更新を実施 DMO の運営に関する専門人材を活用し、各種取組を実施 事業費 : 6,784 千円</p>
K P I	別紙参考資料 2 2～3 ページ参照
担当部署 評価	<p><input type="checkbox"/>①地方創生に非常に効果的であった <input type="checkbox"/>②地方創生に相当程度効果があった</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>③地方創生に効果があった <input type="checkbox"/>④地方創生に対して効果がなかった</p> <p><input type="checkbox"/>⑤効果の有無はまだわからない</p>
担当部署 評価理由	<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響による会合やイベントの自粛を受け、圏域地場産品の主 要な販路となる外食産業等は全国的に低調となったほか、八戸都市圏交流プラザ「8 base」に においても一部の事業の中止や営業規模の縮小を余儀なくされ、各種 PR の機会が失われるな ど、全体的に大きな影響を受け、各 KPI は目標値を下回った。</p> <p>そのような中、海外販路拡大事業において商談成立や継続商談希望があったことや、「8 base」が各種メディアで取り上げられ、約 16 万人の来店者を記録したことは評価できると考え る。</p> <p>また、アフターコロナにおいてはインバウンドの大幅な増加が見込まれるなか、多言語版ウェブサ イトの充実やインバウンドを対象としたマーケティングノウハウの蓄積など、アフターコロナを見据えた 事業を展開したことで、インバウンドの受入体制の強化が図られた。</p>

2. 委員による評価

本事業の実施による、地方創生への効果について御判断していただきます。

- ① 地方創生に非常に効果的であった
- ② 地方創生に相当程度効果があった
- ③ 地方創生に効果があった
- ④ 地方創生に対して効果がなかった
- ⑤ 効果の有無はまだわからない

委員×E欄

〈評価の凡例：選択肢〉

①	地方創生に非常に効果的であった	例：全ての KPI が目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②	地方創生に相当程度効果があった	例：一部の KPI が目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③	地方創生に効果があった	例：KPI 達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④	地方創生に対して効果がなかった	例：KPI の実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合
⑤	効果の有無はまだわからない	例：施設を整備中など、KPI の実績が出ていない場合

No.2 八戸スポーツビジネス創生事業（推進）

担当部署：スポーツ振興課、長根屋内スケート場、
 駅西區画整理事業所、市街地整備課
 公園緑地課

1. 事業概要

<p>目 的</p>	<p>八戸中心街付近に立地し、国際規格を備えた「長根屋内スケート場（公設公営）」と、八戸駅西地区に立地し、アイスホッケーリンクを中心に多目的に利用できる「八戸多目的アリーナ（民設民営）」の整備に伴い、飲食、宿泊、観光等周辺産業への経済波及効果や雇用創出効果の起爆剤となるよう、地域の実情を踏まえた十分な検証を行い、投資以上の経済効果を地域にもたらすインフラとして、最大限活用されることを目的とする。</p>
<p>事業期間</p>	<p>平成29年度～令和3年度（5年間） ※先駆タイプ</p>
<p>令和3年度実績額</p>	<p>総事業費：160,068千円（うち国費：80,034千円） 令和2年度 繰越分 事業費：37,350千円（うち国費：18,675千円）</p>
<p>交付金事業の取組及び実績</p>	<p>【過去の取組】 別紙参考資料2 4ページ参照</p> <p>【令和3年度の取組】</p> <p>①YSアリーナ八戸 産学官スポーツ科学連携事業【長根屋内スケート場】 概要：スポーツを活用したまちづくりの実証事業の計画立案、実施、効果検証（幅広い層への健康運動プログラム、企業等とのコラボ事業、施設の活用に関する実証事業等）を行う。 実績：幼児・小学生向けスポーツ教室の開催 ・ジュニアサッカー教室(12名) ・ラグビー教室(10名) ・陸上教室(17名) ・ジュニアスケート教室(9名) 事業費：1,626千円</p> <p>②氷都八戸パワーアッププロジェクト【スポーツ振興課】 概要：「氷都八戸」を標榜する当市のシンボリックなスポーツであるスケート競技について、競技人口の増加と競技力の向上を図ることを目的として、スケート教室等の各種事業を展開する。 実績：市主催スケート教室の開催 （スピードスケート教室 全7回、延べ150名参加 フィギュアスケート教室 全6回、延べ91名参加） ※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、募集定員を縮小するとともに、予定していたスピードスケート教室全9回のうち2回を中止。 スケート教室への指導者派遣（延べ195名派遣） 小学生選手へのスピードスケート靴等の無料貸付け 中学生選手へのスケート競技用具購入補助（30名へ補助） 貸出用スケート靴購入（ブーツ部分のみ22足購入） 事業費：ソフト事業 1,359千円、ハード事業 553千円</p> <p>③八戸駅西地区エリアマネジメント導入推進事業 【市街地整備課・駅西區画整理事業所】 概要：八戸駅西地区賑わい交流拠点形成エリアマネジメントを行い、引き続き、八戸駅西地区まちづくりセンター準備会議（八戸版 UDC（アーバンデザインセンター）設</p>

	<p>立に向けた準備会議)、八戸駅西地区で盛り上がり隊、シンボルロード周辺関係者等による意見交換会の3団体が、統一性、一貫性、継続性を目指した、市民協働のまちづくりを推進する。また、八戸駅西地区駅前保留地に係る売却の可能性を探るため、需要調査を実施する。</p> <p>実績：シンボルロード周辺関係者等による意見交換会の開催(2回開催) 八戸駅西地区まちづくりセンター準備会議 コアメンバー会議(2回開催) 八戸駅西地区賑わい創出オンライン座談会(1回開催) 八戸駅西地区で盛り上がり隊定例会(12回開催、延べ136人参加) 需要調査アンケート発送件数2,093件</p> <p>事業費：15,158千円</p> <p>④スポーツコミッション設立事業【スポーツ振興課】 概要：民間主導によるスポーツコミッションの設立について引き続き検討を進めるとともに、八戸版 DMO「VISIT はちのへ」との連携により、国際大会等の大型イベントの誘致、スポーツ合宿の誘致に向け、「稼ぐ」施設利用を促進する。 実績：八戸市スポーツビジネス実証事業(委託事業) スポーツアカデミー事業(小中学生等を対象とした運動教室・食育講座を実施)</p> <p>事業費：1,380千円</p> <p>⑤FLAT HACHINOHE 隣接広場整備事業【公園緑地課】 概要：FLAT HACHINOHE 隣接広場整備を整備する。 実績：フラット八戸隣接広場整備工事 フラット八戸隣接広場植栽工事</p> <p>事業費：139,992千円</p> <p>【令和2年度からの繰越分】</p> <p>⑥FLAT HACHINOHE 隣接広場整備事業【公園緑地課】 概要：FLAT HACHINOHE 隣接広場を整備する。 実績：フラット八戸隣接広場整備工事</p> <p>事業費：37,350千円</p>
K P I	別紙参考資料2 5～6ページ参照
担当部署 評価	<input type="checkbox"/> ①地方創生に非常に効果的であった <input type="checkbox"/> ②地方創生に相当程度効果があった <input checked="" type="checkbox"/> ③地方創生に効果があった <input type="checkbox"/> ④地方創生に対して効果がなかった <input type="checkbox"/> ⑤効果の有無はまだわからない
担当部署 評価理由	<p>新型コロナウイルス感染症対策(施設休館、イベント開催制限等)により事業を縮小しての実施となったことから、KPIは目標値に達しなかったものの、地域住民を対象にした「健康科学」、「スポーツビジネス」、「地域貢献」に関連する各種スポーツ教室の開催やスケート教室など、スケート競技人口の増加と競技力向上のための事業を実施するなど、スポーツの場を提供したことで事業開始前よりも取組が前進したと考える。</p> <p>またスポーツコミッション設立を検討するための実証事業を実施したほか、関係団体と協議を重ね、令和4年4月に「八戸スポーツコミッション」を設立した。今後は、当コミッションにおいて地域経済の活性化を目的として各種事業を進めていくこととしており、事業開始前よりも取組が大きく前進、改善したと考える。</p>

2. 委員による評価

本事業の実施による、地方創生への効果について御判断していただきます。

- ① 地方創生に非常に効果的であった
- ② 地方創生に相当程度効果があった
- ③ 地方創生に効果があった
- ④ 地方創生に対して効果がなかった
- ⑤ 効果の有無はまだわからない

委員×E欄

(評価の凡例：選択肢)

①	地方創生に非常に効果的であった	例：全ての KPI が目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②	地方創生に相当程度効果があった	例：一部の KPI が目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③	地方創生に効果があった	例：KPI 達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④	地方創生に対して効果がなかった	例：KPI の実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合
⑤	効果の有無はまだわからない	例：施設を整備中など、KPI の実績が出ていない場合

No.3 八戸産ぶどうを活用したワイン産業の創出による地域経済活性化事業（推進）

1. 事業概要

担当部署：農業経営振興センター

<p>目 的</p>	<p>八戸市の主要農産物の1つである葉たばこの生産が、たばこ需要の減少により縮減していることから、平成26年5月に市の附属機関として「八戸市南郷新規作物研究会議」を創設し、その会議の検討の結果、国内市場が拡大傾向にあり、ぶどうの生産、ワインの製造、物流及び販売等裾野が広く、飲食業等の既存の民業への波及効果の高いワイン産業の創出により、付加価値の高い農業の振興による地域経済の活性化を図ることを目的とする。</p>
<p>事業期間</p>	<p>平成30年度～令和4年度（5年間） ※横展開タイプ ※イガラシ綜業(株)より、企業版ふるさと納税を活用した200万円の寄附金を受納した(R2/6/24)ことで、事業期間を2年間延長するインセンティブを受けた。</p>
<p>令和3年度実績額</p>	<p>総事業費：4,825千円（うち国費：2,412千円）</p>
<p>交付金事業の取組及び実績</p>	<p>【過去の取組】 別紙参考資料2 7ページ参照</p> <p>【令和3年度の取組】</p> <p>①八戸市ワイン需要拡大プロジェクト 概要：市内のワイン需要の拡大や人材育成のため、八戸ワインフェス、八戸ワイン産業振興セミナー及び八戸ワインカレッジ等の市民向けのイベントを開催する。 実績：八戸ワインフェス 1回開催（オンライン視聴） 八戸ワイン産業振興セミナー 2回開催（延べ58人参加） 八戸ワインセミナー 2回開催（延べ27人参加） 八戸ワインカレッジ 1回開催（オンライン講義/延べ20人参加） 事業費：985千円</p> <p>②八戸市ワイン産業創出支援事業 概要：ワイン用ぶどうの生産量のさらなる増大による農業振興を目的に、南郷地区で農業生産を行う市内農業経営体のワイン用ぶどうの苗木購入に要する経費を補助する。（補助率1/2以内） 実績：交付先 計2農業経営体 事業費：557千円</p> <p>③八戸市ワイン用ぶどう雨よけ施設等整備支援事業 概要：ワイン用ぶどうの品質の向上による農業振興を目的に、南郷地区でワイン用ぶどう栽培を行う市内農業経営体のワイン用ぶどうの雨よけに必要なビニール等の購入に要する経費を補助する。（補助率1/2以内） 実績：交付先 計3農業経営体 事業費：1,950千円</p> <p>④ワイン用ぶどう生産講習会の開催 概要：ワイン用ぶどうの生産に関する技術力の向上を図るため、ワイン用ぶどう生産経営体を対象とした生産講習会を開催する。 実績：1回開催（延べ19人参加） 事業費：71千円</p>

	<p>⑤八戸市ワイナリー創出支援事業補助金 概要：ワイナリーの整備に対して補助による支援を行う。 実績：交付先 1社 事業費：1,262千円</p> <p>【令和4年度の取組（予定）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八戸ワイン需要拡大プロジェクト ・八戸市ワイン産業創出支援事業 ・八戸市ワイン用ぶどう雨よけ施設等整備支援事業 ・ワイン用ぶどう生産講習会の開催 ・八戸市ワイナリー創出支援事業 <p style="text-align: right;">総事業費：5,509千円</p>
K P I	別紙参考資料2 8～9ページ参照
担当部署 評価	<input type="checkbox"/> ①地方創生に非常に効果的であった <input type="checkbox"/> ②地方創生に相当程度効果があった <input checked="" type="checkbox"/> ③地方創生に効果があった <input type="checkbox"/> ④地方創生に対して効果がなかった <input type="checkbox"/> ⑤効果の有無はまだわからない
担当部署 評価理由	<p>KPIは、目標値に達しなかったものの、ワイン需要の拡大や人材育成のためのイベント、並びにワイン用ぶどうの生産量増大に向けた取組等を実施することにより、概ね事業の目的とする効果が得られたとみなせるため。</p>

2. 委員による評価

本事業の実施による、地方創生への効果について御判断していただきます。

- ① 地方創生に非常に効果的であった
- ② 地方創生に相当程度効果があった
- ③ 地方創生に効果があった
- ④ 地方創生に対して効果がなかった
- ⑤ 効果の有無はまだわからない

委員×モ欄

(評価の凡例：選択肢)

①	地方創生に非常に効果的であった	例：全ての KPI が目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②	地方創生に相当程度効果があった	例：一部の KPI が目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③	地方創生に効果があった	例：KPI 達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④	地方創生に対して効果がなかった	例：KPI の実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合
⑤	効果の有無はまだわからない	例：施設を整備中など、KPI の実績が出ていない場合

No.4 はちのへ空き家再生事業（推進）

1. 事業概要

担当部署：市街地整備課

<p>目 的</p>	<p>近年、全国的に増加し問題となっている空き家について、地元企業（不動産・IT 企業）のほか、PR 効果と情報発信力を期待できる地元スポーツチームと連携し、空き家に対する住民意識の醸成や効果的な PR を図りながら、空き家利活用の促進等に取り組み、空き家再生の成功事例を生み出すとともに、地域経済の活性化及び地域スポーツの振興を図ることを目的とする。</p>
<p>事業期間</p>	<p>平成 30 年度～令和 4 年度（5 年間） ※横展開タイプ ※ 信金中央金庫より、企業版ふるさと納税を活用した 200 万円の寄附金を受納した (R3/2/24) ことで、事業期間を 2 年間延長するインセンティブを受けた。</p>
<p>令和 3 年度実績額</p>	<p>総事業費：37,348 千円（うち国費：18,674 千円）</p>
<p>交付金事業の取組及び実績</p>	<p>【過去の取組】 別紙参考資料 2 10 ページ参照</p> <p>【令和 3 年度の取組】</p> <p>①空き家の実態調査及びデータベースの作成 概要：空き家の実態調査を実施し、空き家の基本データを収集してデータベースを構築する。実態調査は、空き家再生を図ることによって一定の効果が見込める地域（中心市街地周辺等）を対象として実施する。 実績：令和 3 年度調査地区：三八城、白銀</p> <p>②空き家ポータルサイトの運営 概要：空き家バンク機能を有するほか、空き家の利活用等に関する各種情報を掲載し、空き家の利活用希望者等に対しワンストップで対応できる空き家ポータルサイトを運営。 実績：令和 4 年 3 月 31 日時点登録者数 空き家バンク登録物件数（累計） 47 件（うち 27 件成約） 空き家バンク協力事業者 36 事業者（宅地建物取引業者） 空き家相談協力員 49 人 （弁護士 6 人、税理士 1 人、司法書士 2 人、宅地建物取引士 40 人）</p> <p>③空き家対策に関する P R 概要：空き家対策に関する P R 動画を制作し、インターネット（空き家ポータルサイト等）で公開する。 空き家ずかんに掲載した物件の紹介動画を作成し、公開する。 実績：PR 動画 1 本作成・公開 空き家ずかん掲載物件紹介動画 16 本作成</p> <p>※上記①～③をまとめて空き家再生事業業務委託として実施(事業費：33,388 千円)</p> <p>④空き家情報管理システムの構築・運用 概要：実態調査で収集した空き家データベース等の空き家情報を一元管理するシステムの構築を行う。 実績：令和 4 年 1 月完成、2 月から運用開始。 事業費：3,960 千円</p>

	<p>【令和4年度の取組（予定）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家の実態調査 ・データベースの作成 ・ポータルサイトの運営（空き家に関する各種情報の提供） ・空き家対策事業に関する PR ・空き家利活用促進のためのシステムの運用 <p style="text-align: right;">総事業費：36,330 千円</p>
K P I	<p>※別紙参考資料2 11～12 ページ参照</p>
担当部署 評価	<p><input type="checkbox"/>①地方創生に非常に効果的であった <input type="checkbox"/>②地方創生に相当程度効果があった</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>③地方創生に効果があった <input type="checkbox"/>④地方創生に対して効果がなかった</p> <p><input type="checkbox"/>⑤効果の有無はまだわからない</p>
担当部署 評価理由	<p>平成31年3月の運営開始以降、空き家ポータルサイト「はちのへ空き家ずかん」の認知度の向上のため、空き家対策に関するPR動画を公開するなどサイトのコンテンツの充実や不動産団体との連携の強化などに取り組んでいる。</p> <p>KPIの空き家ポータルサイトアクセス数（PV）は、順調に増加し、目標値を大幅に上回ってきており、市民や空き家の利活用希望者に対する認知度は一定程度図られたものと考えられる。このため、さらなる認知度の向上と空き家問題への住民意識の醸成をより一層図るため、R3年度以降のKPIを上方修正した。</p> <p>一方、空き家解消件数については、目標値の達成には至らなかったものの、空き家ポータルサイトの周知や空き家バンク掲載物件の紹介動画の公開などにより、同件数は着実に増加してきており、事業の成果が現れてきているとみなせる。</p> <p>上記により、KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進したと考える。</p>

2. 委員による評価

本事業の実施による、地方創生への効果について御判断していただきます。

- ① 地方創生に非常に効果的であった
- ② 地方創生に相当程度効果があった
- ③ 地方創生に効果があった
- ④ 地方創生に対して効果がなかった
- ⑤ 効果の有無はまだわからない

委員メモ欄

〈評価の凡例：選択肢〉

①	地方創生に非常に効果的であった	例：全ての KPI が目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②	地方創生に相当程度効果があった	例：一部の KPI が目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③	地方創生に効果があった	例：KPI 達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④	地方創生に対して効果がなかった	例：KPI の実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合
⑤	効果の有無はまだわからない	例：施設を整備中など、KPI の実績が出ていない場合

No.5 はちのへマチナカ活性化プロジェクト（推進）

1. 事業概要

担当部署：八戸ポータルミュージアム、
美術館

目的	「はっち」、「八戸ブックセンター」、「マチニワ」と併せて、令和3年度には「八戸市新美術館」が開館予定であり、半径200メートル以内に文化関連施設が集積しているという立地条件を活かし、「稼ぐ文化」を実践するための様々な施策を総合的に展開し、市民の文化力向上と地域経済活性化の両方を達成することを目的とする。
事業期間	平成30年度～令和4年度（5年間） ※横展開タイプ ※信金中央金庫より、企業版ふるさと納税を活用した200万円の寄附金を受納した（R3/2/24）ことで、事業期間を2年間延長するインセンティブを受けた。
令和3年度実績額	総事業費：24,946千円（うち国費：12,473千円）
交付金事業の取組及び実績	<p>【過去の取組】 別紙参考資料2 13ページ参照</p> <p>【令和3年度の取組】</p> <p>①人材育成事業</p> <p>①-1 マチニワアドバイザー事業【八戸ポータルミュージアム】 概要：マチニワの運営や広場の活用に関し、公共広場の運営等に関するノウハウを有する者からアドバイスを受ける。 実績：アドバイザーによるアドバイスを2回実施 事業費：44千円</p> <p>①-2 マチニワワークショップ事業【八戸ポータルミュージアム】 概要：市民参加によるワークショップを行い、マチニワに携わる市民を増やす。 実績：マチニワワークショップを1回開催（延べ9名参加） 事業費：66千円</p> <p>①-3 スクール事業【八戸ポータルミュージアム】 概要：文化芸術、地域の伝統、ものづくり等の講座やワークショップを月に1回程度開催することにより、市民に多様な分野について学ぶ機会を提供する。 実績：市民ワークショップを9回開催（延べ167名参加） 事業費：95千円</p> <p>①-4 課題解決型市民協働事業の公募【八戸ポータルミュージアム】 概要：地域課題の解決につながる企画を募集し、実施に必要な経費を補助するとともに協働により企画を実施することにより、協働体制の構築と地域活性化を図る。 実績：公募による市民との協働事業を2件実施 事業費：657千円</p> <p>①-5 アートファーマープロジェクト【美術館】 概要：新美術館の企画に主体的・能動的に関わる市民スタッフが、活動を展開する上で必要なスキルを体得できるよう、専門家による講義や実践を行う。 実績：・建築ツアーガイド講座を4回、実践4日開催（受講者10名、ツアー参加者147名） ・向井山朋子パフォーマンス作品制作ワークショップ6回、公演1回開催（ワークショップ参加者14名、公演参加者数98名） 事業費：1,490千円</p>

①-6 大学資産を活用したアートの学び事業【美術館】

概要：大学連携を具現化するため美術館内に整備する大学活動拠点と連携した事業の方向性を探るとともに、大学と連携して実施するアートを切り口とした多彩な講座・ワークショップなどを通じた人材育成事業を展開し、中心市街地の活性化や地域経済の活性化に繋げる。

実績：「わたしたちの八戸アート」ワークショップを3回開催、受講者延べ30人
事業費：2,490千円

②稼ぐ、回遊性の向上、コト（時間消費）、繋がる活動

②-1 マチニワマルシェ事業【八戸ポータルミュージアム】

概要：圏域の商品や農産物等の魅力を発信する動画を作成・公開するとともに、八戸の食や八戸圏域の特産品等を出店する「マチニワマルシェ」を開催するもの。

実績：新型コロナウイルス感染症の影響によりマルシェは中止。圏域の商品や農産物等の魅力を発信する動画の制作および公開。

事業費：798千円

②-2 手しごと展開催事業【八戸ポータルミュージアム】

概要：八戸の伝統工芸について、つくり手たちの技と創作活動をパネルや実演等により紹介する展示を開催。

実績：1月8日～10日開催（出展団体 計18団体、延べ840名来場）

事業費：220千円

②-3 賑わい創出イベント開催事業【八戸ポータルミュージアム】

概要：日常の賑わいを生む企画やストリートパフォーマンス（大道芸等）を実施するイベントを実施する。

実績：イベント計10回開催、参加団体計12団体、

事業費：674千円

②-4 マチニワ内装飾【八戸ポータルミュージアム】

概要：クリスマスなど季節に合わせた館内装飾を実施。

実績：クリスマスの水の樹バルーンデコレーション等を実施。

事業費：495千円

②-5 新美術館運営ディレクション業務委託【美術館】

概要：新美術館整備にあたり、専門家にディレクションを依頼することにより、開館に向けた準備を円滑に行う。

実績：開館記念「ギフト、ギフト、」を開催、観覧者数13,089人

事業費：2,893千円

②-6 新美術館開館支援業務委託【美術館】

概要：新美術館整備事業に関する開館準備業務について、専門家に支援を依頼。

実績：オープニングセレモニーの開催サポート等を実施（委託先：オフソサエティ(株)）

事業費：2,998千円

②-7 新美術館展覧会企画業務委託【美術館】

概要：専門家に事業のマネジメント等を依頼し、新美術館のオープニング事業やオープニング後のイベントの企画・準備を行う。

実績：開館記念「ギフト、ギフト、」を開催し、11組のアーティスト・コレクションを招聘。

事業費：9,771千円

②-8 新美術館プレ事業・オープニングセレモニーの実施【美術館】

概要：新美術館が2021年夏～秋にオープンすることから、プレ事業及びオープニングセレモニーを行う。

実績：「開館まで88日カウントアップイベント」、「建築トークイベント」等を開催した。

事業費：1,947千円

	<p>③観光・インバウンド事業</p> <p>③-1 八戸市新美術館広報物デザイン業務委託【美術館】 概要：統一的なデザインのもとで新美術館の各種広報物を制作し、新美術館のブランドイメージの形成を図る。 実績：リーフレット、シールチケット等を作成した。 事業費：2,200 千円</p> <p>③-2 新美術館ウェブサイト制作保守業務【美術館】 概要：新美術館のオープンにあたり、インターネットを活用した効果的な広報を行うことで、新美術館開館への市内外からの関心を高める。 実績：新美術館のホームページを作成、公開した。 事業費：2,736 千円</p> <p>【令和4年度の取組（予定）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マチニワアドバイザー事業 ・マチニワワークショップ事業 ・スクール事業 ・課題解決型市民協働事業 ・アートファーマープロジェクト ・大学資産を活用したアートの学び事業 ・はっち観光展示リニューアル ・手しごと展 ・賑わい創出イベント ・マチニワ内装飾 ・グリーンプロジェクト ・新美術館展覧会企画業務委託 <p style="text-align: right;">総事業費：65,068 千円</p>
K P I	別紙参考資料2 14～15 ページ参照
担当部署 評価	<input type="checkbox"/> ①地方創生に非常に効果的であった <input type="checkbox"/> ②地方創生に相当程度効果があった <input checked="" type="checkbox"/> ③地方創生に効果があった <input type="checkbox"/> ④地方創生に対して効果がなかった <input type="checkbox"/> ⑤効果の有無はまだわからない
担当部署 評価理由	<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により KPI の達成は難しかったが、感染対策を施したうえで中心市街地への来街のきっかけとなるような事業・イベントを実施することができた。</p> <p>特に美術館においては、令和3年11月3日のグランドオープン直後から県内外からの多数の来館者で賑わい、開館記念の展覧会「ギフト、ギフト、」は1か月で8,888人の観覧者数があったほか、美術・建築の業界紙や旅行雑誌、テレビ・ラジオ番組、web記事等で多数取り上げられるなど話題になる機会も多かったことから、市民の文化力向上と地域経済活性化の両方を達成に向けて前進したと考えられる。</p>

2. 委員による評価

本事業の実施による、地方創生への効果について御判断していただきます。

- ① 地方創生に非常に効果的であった
- ② 地方創生に相当程度効果があった
- ③ 地方創生に効果があった
- ④ 地方創生に対して効果がなかった
- ⑤ 効果の有無はまだわからない

委員×E欄

〈評価の凡例：選択肢〉

①	地方創生に非常に効果的であった	例：全ての KPI が目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②	地方創生に相当程度効果があった	例：一部の KPI が目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③	地方創生に効果があった	例：KPI 達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④	地方創生に対して効果がなかった	例：KPI の実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合
⑤	効果の有無はまだわからない	例：施設を整備中など、KPI の実績が出ていない場合

No.6 八戸 AI データワーク推進事業（推進）

1. 事業概要

担当部署：産業労政課

目的	AI アノテーション作業を行う事業者を支援することで、多様な働き方が期待できる AI アノテーションという新たなしごとを創出しつつ、多様な就業機会や誰もが活躍できる地域社会の確立を目的とする。
事業期間	令和2年度～令和4年度（3年間） ※横展開タイプ
令和3年度実績額	総事業費：11,006千円（うち国費：5,503千円）
交付金事業の取組及び実績	<p>【過去の取組】 別紙参考資料2 16ページ参照</p> <p>【令和3年度の取組】 ①AI アノテーション作業を行う事業者に対する補助（公募） 概要：AI アノテーション作業を行う事業者に対し、AI アノテーション作業を行うための環境の整備や、AI アノテーション作業についての専門人材育成にかかる経費等について支援する。 実績：AI アノテーション作業を行う事業者に対する補助（公募）補助事業者3者 事業費：11,006千円</p> <p>【令和4年度の取組（予定）】 ・AI アノテーション作業を行う事業者に対する補助（公募） 総事業費：15,000千円</p>
K P I	別紙参考資料2 17～18ページ参照
担当部署評価	<input type="checkbox"/> ①地方創生に非常に効果的であった <input type="checkbox"/> ②地方創生に相当程度効果があった <input checked="" type="checkbox"/> ③地方創生に効果があった <input type="checkbox"/> ④地方創生に対して効果がなかった <input type="checkbox"/> ⑤効果の有無はまだわからない
担当部署評価理由	KPI のうち作業従事者数は目標値を達成しており、専門人材数及びアノテーション件数は目標値に達しなかったものの着実に数値が増加しているため。

2. 委員による評価

本事業の実施による、地方創生への効果について御判断していただきます。

- ①地方創生に非常に効果的であった
- ②地方創生に相当程度効果があった
- ③地方創生に効果があった
- ④地方創生に対して効果がなかった
- ⑤効果の有無はまだわからない

委員メモ欄

〈評価の凡例：選択肢〉

①	地方創生に非常に効果的であった	例：全ての KPI が目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②	地方創生に相当程度効果があった	例：一部の KPI が目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③	地方創生に効果があった	例：KPI 達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④	地方創生に対して効果がなかった	例：KPI の実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合
⑤	効果の有無はまだわからない	例：施設を整備中など、KPI の実績が出ていない場合

No.7 蕪島エントランス整備事業（拠点）

1. 事業概要

担当部署：観光課

目的	<p>三陸復興国立公園の北の玄関口である蕪島地区において、地域の特産品や土産品等の販売のほか、休憩もできる憩いの空間としての蕪島物産販売施設を整備することで、蕪島地区での滞在時間の延長、地域の賑わいの創出及び地域経済の振興を図ることを目的とする。</p> <p>また、令和2年3月に、当市を代表する観光スポットである蕪嶋神社の再建工事が完了し、令和2年5月に物産販売施設がオープンした。観光入込客数の増加、地域経済活性化等の相乗効果を図ることで年間10万人以上の集客を目指す。</p>
事業期間	令和元年4月～令和2年3月（工事期間）
令和3年度実績額	-
交付金事業の取組及び実績	<p>【過去の取組】</p> <p>別紙参考資料2 19ページ参照</p> <p>【令和3年度の取組】</p> <p>①蕪島物産販売施設の運営</p> <p>概要：物産機能、飲食提供機能、休憩機能を持つ物産販売施設を運営する。</p> <p>実績：来店者 118,558人 事業費：6,587千円（市単費）</p>
K P I	別紙参考資料2 20～21ページ参照
担当部署評価	<p><input type="checkbox"/>①地方創生に非常に効果的であった <input checked="" type="checkbox"/>②地方創生に相当程度効果があった</p> <p><input type="checkbox"/>③地方創生に効果があった <input type="checkbox"/>④地方創生に対して効果がなかった</p> <p><input type="checkbox"/>⑤効果の有無はまだわからない</p>
担当部署評価理由	<p>新型コロナウイルス感染症対策のため、令和3年8月29日から9月30日及び、令和4年1月24日から3月21日の期間閉館したこと、地域のイベント等が開催自粛となり集客面で厳しい状況であったことなどの影響により、入込客数及び売上金額ともにKPIの目標値を下回った。しかし、開館時には一定の入込客数及び売上金額があり、閉館期間がなければ年間目標を達成していたものと見込まれることから、事業の目的とする効果はある程度得られたと考える。</p>

2. 委員による評価

本事業の実施による、地方創生への効果について御判断していただきます。

- ① 地方創生に非常に効果的であった
- ② 地方創生に相当程度効果があった
- ③ 地方創生に効果があった
- ④ 地方創生に対して効果がなかった
- ⑤ 効果の有無はまだわからない

委員メモ欄

〈評価の凡例：選択肢〉

①	地方創生に非常に効果的であった	例：全ての KPI が目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②	地方創生に相当程度効果があった	例：一部の KPI が目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③	地方創生に効果があった	例：KPI 達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④	地方創生に対して効果がなかった	例：KPI の実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合
⑤	効果の有無はまだわからない	例：施設を整備中など、KPI の実績が出ていない場合

No.8 多賀多目的運動場スタジアム照明整備事業（拠点）

1. 事業概要

担当部署：スポーツ振興課

目的	多賀多目的運動場天然芝球技場において、夜間も興行等を行えるような照明設備を設置し、Jリーグが求めるスタジアム基準を満たすホームスタジアムの整備を行う。また、関連する事業を強化していくことで、県内外からより多くの来訪者を呼び込み、交流人口の拡大を通じた地域経済の活性化と観るサッカー文化の醸成を図る。
事業期間	令和2年4月～令和3年3月
令和3年度実績額	-
交付金事業の取組及び実績	<p>【過去の取組】 別紙参考資料2 22ページ参照</p> <p>【令和3年度の取組】 ①多賀多目的運動場天然芝球技場の運営 概要：照明設備を使用し、Jリーグ公式戦においてナイトゲームを開催する。 照明設備を使用し、市民等に向けた夜間の興行を行う。 実績：公式戦4試合開催 イベント（天然芝球技場でナイトヨガ：1回）開催</p>
K P I	別紙参考資料2 23～24ページ参照
担当部署評価	<input type="checkbox"/> ①地方創生に非常に効果的であった <input type="checkbox"/> ②地方創生に相当程度効果があった <input checked="" type="checkbox"/> ③地方創生に効果があった <input type="checkbox"/> ④地方創生に対して効果がなかった <input type="checkbox"/> ⑤効果の有無はまだわからない
担当部署評価理由	新型コロナウイルス感染症対策（Jリーグ公式戦における観客入場制限・日程変更、施設休館、イベント開催制限等）により、KPIは目標値に達しなかったものの、初開催となったJリーグ公式戦ナイトゲームでは、シーズン最大の観客動員数を記録する等、地域経済の活性化と観るサッカー文化の醸成に一定程度の成果があったと思われる。

2. 委員による評価

本事業の実施による、地方創生への効果について御判断していただきます。

- ①地方創生に非常に効果的であった
- ②地方創生に相当程度効果があった
- ③地方創生に効果があった
- ④地方創生に対して効果がなかった
- ⑤効果の有無はまだわからない

委員メモ欄

①	地方創生に非常に効果的であった	例：全ての KPI が目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②	地方創生に相当程度効果があった	例：一部の KPI が目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③	地方創生に効果があった	例：KPI 達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④	地方創生に対して効果がなかった	例：KPI の実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合
⑤	効果の有無はまだわからない	例：施設を整備中など、KPI の実績が出ていない場合

No.9 市営魚菜小売市場を核とした官民連携による個性あふれる商店街の形成と水産業の振興（拠点）

1. 事業概要

担当部署：まちづくり推進課

目 的	陸奥湊駅通り地区商店街を牽引してきた代表的な施設である市営魚菜小売市場のリニューアルを通して、小売機能の再生による商店街の振興、魚食普及による水産業振興、観光機能の充実による誘客推進のそれぞれが機能し、相乗効果を生むことで地区の活性化を目指す
事業期間	令和3年4月～令和4年3月
令和3年度実績額	総事業費：43,820千円 (うち国費：21,910千円) ※事故繰越しにより236,786千円を令和4年度に繰越
交付金事業の取組及び実績	<p>【令和3年度の取組】</p> <p>①八戸市営魚菜小売市場改修等機械設備工事 概要：物産拠点としての機能強化及びキッチンスタジオ機能、飲食店ブース等の新設 実績：現在工事中（令和4年11月竣工予定） ※令和3年12月時点で、施設躯体の一部に想定外の劣化が確認され、追加の設計及び工事が必要となったことから、工事期間を延長している。 事業費：39,820千円（総事業費500,845千円のうち、前金払い分）</p> <p>②八戸市営魚菜小売市場デザインディレクション等業務委託 概要：外構工事及び県産材を使用した各種什器等の整備 実績：①の延長に伴い、契約期間延長（未完了） 事業費：4,000千円（総事業費16,548千円のうち、前金払い分）</p>
K P I	別紙参考資料2 26、27 ページ参照参照
担当部署評価	<input type="checkbox"/> ①地方創生に非常に効果的であった <input type="checkbox"/> ②地方創生に相当程度効果があった <input type="checkbox"/> ③地方創生に効果があった <input type="checkbox"/> ④地方創生に対して効果がなかった <input checked="" type="checkbox"/> ⑤効果の有無はまだわからない
担当部署評価理由	工事中のため。

2. 委員による評価

本事業の実施による、地方創生への効果について御判断していただきます。

- ①地方創生に非常に効果的であった
- ②地方創生に相当程度効果があった
- ③地方創生に効果があった
- ④地方創生に対して効果がなかった
- ⑤効果の有無はまだわからない

委員×E欄

①	地方創生に非常に効果的であった	例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②	地方創生に相当程度効果があった	例：一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③	地方創生に効果があった	例：KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④	地方創生に対して効果がなかった	例：KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合
⑤	効果の有無はまだわからない	例：施設を整備中など、KPIの実績が出ていない場合